

生 活		東書（東京書籍株式会社）
総 評		<p>上巻「がっこうせいかつ すたあと」の資料には、小学校生活を始める1年生児童に対して入学当初の授業の特色を示したり、生活科の学習への理解を促したりする工夫が見られる。</p> <p>幼児期の終わりまでに育てたい10の姿をイメージしやすいように写真やイラストを効果的に使うことができている。</p> <p>吹き出しの言葉が精選されており、発言の例が吹き出しでたくさん示され、児童が考え、判断し、表現する力が育つように配慮されている。</p> <p>教科書が大きく、重くて文字は小さい。机のスペースが狭くなり、作業がしにくくなる。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 上 P.1～13 など「がっこうせいかつ すたあと」で児童も保護者も安心できるような写真やイラストを使用し、言葉も精選されている。①</p> <p>○ 発言の例が吹き出しでたくさん示され、児童が思考力・判断力、表現力が育つように配慮されている。③④</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 上 P.1～13 に「がっこう せいかつ すたあと」を設置し、学校生活をスタートする児童と保護者に生活科についてがわかるガイドや入学当初の授業の特色を示す工夫ができている。幼児期の終わりまでに育てたい10の姿をイメージしやすいように写真やイラストを効果的に使うことができている。⑦</p> <p>○ 上下巻末 P.115～112、P.107～128 に安全のことや学び方、どんな場所にどんな生き物があるかなどが掲載されており、学びの手立てとなっている。③</p> <p>○ 吹き出しの言葉が精選されており思考の方向性がわかりやすい。②</p>
	3 外的要素	<p>○ 全体的にページが大きく、図や写真も大きく鮮明である。③</p> <p>○ 上巻のポケット図鑑が実際の大きさなので児童がイメージしやすい。④</p>
	4 構成・配列	<p>○ 上では、同一の公園の季節ごとの様子が載っており、春・夏 P.44～45、秋 P.70～71、冬 P.96～97 など季節の変化に目を向けられるようになっている。②</p> <p>○ 下 P.23～32、P.71～87 では町たんけんが2回設定され、活動を繰り返すことによって学びを深めていくことができるようになっている。②</p>
	5 資料・その他	<p>○ 上 P.45 では各地の特色や伝統的行事などの写真を使い、暮らしについて考えやすい工夫がされている。①</p> <p>○ 下 P.100～101 では児童が手書きした作文や新聞などの成果物を出し、まとめ方が参考になっている。②</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 下 P.83 の「つたえ方をえらぼう」で3つの方法が示されているが、選ぶということで他の方法を考えにくい。③</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 下 P.51～P.53 の「うごく うごく わたしのおもちゃ」では、児童のシートが載っているが、同一人物のものにして変容がわかるようにしてもよい。⑥</p> <p>○ 下 P.30～P.31 の地図中の表記で使われている漢字が児童にとって難しい。（学習していない）③</p>
	3 外的要素	<p>○ 教科書が大きく、重い文字は小さい。机のスペースが狭くなり、作業がしにくくなる。②</p>
	4 構成・配列	<p>○ 下 P.28～29 など他教科（3年社会）との関連に工夫がされているが、町探検など児童に関連がわかりにくい。</p>
	5 資料・その他	<p>○ 下 P.128 のデジタルカメラは、タブレットなど、実際に使われているような、なじみのあるものがよい。②</p>

令和2年度使用教科用図書 答申資料（第2地区）

生 活		大日本（大日本図書株式会社）
総 評		<p>児童の試行錯誤が生まれるような教室環境の工夫がイラストで表現されており児童がイメージしやすいような配慮がある。</p> <p>児童の発言の例が吹き出しでたくさん示され、自ら考え、判断し、表現する力の育成が促される構成になっている。</p> <p>吹き出しが多い分、イメージはしやすいが、考え方を引き出す場面で指導者の指導方法の工夫が必要である。</p> <p>資料が豊富である反面、情報が多く、低学年の児童にとっては、情報の活用の仕方に指導の工夫が必要である。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 下P.76～77で、児童の試行錯誤が生まれるような教室環境の工夫がイラストで表現されている。③</p> <p>○ 上P.83～85では児童の発言の例が吹き出しでたくさん示され、思考力・判断力、表現力が育つような構成になっている。④</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 上P.1～7に「しょうがっこう せいかつ はじまるよ」を設置し、学校生活をスタートする児童に生活科についてがわかるイラストや写真を使い、入学当初の授業の特色を示す工夫ができています。幼児期の終わりまでに育てたい10の姿をイメージしやすいようにできています。⑦</p> <p>○ 巻末の「がくしゅうどうぐぼこ」上P.104～129 下P.106～137に安全のことや学び方が掲載されているのが学びの手立てとなっている。③</p> <p>○ 上P.32～33など吹き出しの言葉が精選されており、思考の方向性がわかりやすい。②</p>
	3 外的要素	<p>○ 表紙に穴が開いているように見せたり、凹凸を付けたりするなど、児童が生活科に興味関心を持ち、親しみを感じることができるよう工夫されている。①</p> <p>○ 下P.34など写真やイラストにアップでとられたものが多く、臨場感があり、児童の興味関心を高めることに効果的である。③</p> <p>○ 下P.113では、シートを重ねると夜の町の様子が表現されるようになっていて、夜の様子を児童にイメージさせる工夫がされている。③</p>
	4 構成・配列	<p>○ 上P.30～31では春・夏、P.44～45 夏、P.74～75では冬と、同一の公園の季節ごとの様子が載っており、季節の変化に目を向けられるよう工夫されている。②</p> <p>○ 下では町たんけんが2回設定され、活動を繰り返すことによって学びを深めていくことができるようになっている。②</p>
	5 資料・その他	<p>○ 上P.70～71では実際の授業から抜き出したと思われるリアリティのある写真が掲載されており、生活科に親しみや興味を持てるように工夫されている。②</p> <p>○ 上P.94などの板書例が考えを深めていくイメージとして、児童に活動や思考の見通しをもたせられる。①</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 特になし。
	2 内容の取扱い	○ 下P.88など吹き出しが多い分、イメージはしやすいが、思考の方向が偏りすぎてしまう可能性がある。②
	3 外的要素	○ 他社の教科書に比べ、サイズが小さいためフォントが小さく見にくい部分がある。②
	4 構成・配列	○ 下P.46など他教科との関連に工夫がされているが、小さいので児童にとってわかりにくい。①
	5 資料・その他	○ 下P.134～135など資料が豊富である反面、情報が多く1、2年生の児童には処理できない可能性がある。②

生活	学図（学校図書株式会社）	
総評	<p>地域での生活にも活かすことができる教材を提示しており、安心して成長できる環境や体力の向上などに活かすことができる。</p> <p>同一の町の季節ごとの変化の様子が挿絵で表現されていて、季節の変化と町の変化を関連付けて考えることができるように配慮され、考える力や表現する力の育成につながる工夫となっている。</p> <p>単元の終わりに振り返りや次につながるページが必要である。</p> <p>学習カードやノートや新聞など、児童の成果物として表現されたものの記載が大人の字と思われ、やや不自然である。</p>	
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 上P.46～47では、「だるまさんがころんだ」「けいどろ」などが紹介され、地域での生活にも活かすことができることから、安心して成長できる環境や体力の向上などに活かすことができる。①</p> <p>○ 下P.28～35では同一の町の季節ごとの変化の様子が挿絵で表現されていて、季節の変化と町の変化を関連付けて考えることができるように配慮され、考える力や表現する力につながる工夫となっている。④</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 上P.24～25では、「ものしりのうと」として観察カードの書き方が詳しく紹介されていることから、具体的な活動や体験を活性化することに効果的であり、見つける・比べる・たとえるなど思考表現の基礎を身につける工夫にもつながっている。①⑥</p> <p>○ 下P.2～27では、町たんけんについて、身近な人・ものが写真やイラストで紹介され、発見カードの例も豊富で、身近な人々や社会に関して表現する意欲を高める工夫がされている。④</p> <p>○ 下P.64～69ではダンゴ虫の脱皮や幼虫の写真が大きく掲載され、身近な自然のよさや特徴に気づき、意欲的にかかわろうとする態度を養う工夫がされている。⑤</p>
	3 外的要素	<p>○ 上P.62～63では秋の木の葉とどんぐりがセットでわかりやすくイラストで表現されている。③</p> <p>○ 上P.48～49のように見開きで活動が表現されタイトルの場所が決まっていて、フォントも大きく見やすい。②</p>
	4 構成・配列	<p>○ 下P.112～113では、作文や手紙の書き方が詳しく表現されている。国語科と関連した指導ができるよう配慮されている。①</p> <p>○ 上下ともに目次で、1年間の学びや活動の時期が分かるように暦として整理されているので、効果的な指導ができる。①</p>
	5 資料・その他	<p>○ 上P.114～124、下P.104～120では学び方図鑑として、話し方や発表の仕方などが詳しく紹介され、学習を有効に進めるために効果的である。①</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 全体にタブレットやICTの活用場面が少ない。②</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 上P.82～91でうさぎ、モルモット、などが中心に紹介されているため、大阪市の児童は馴染みがなく、イメージを持ちにくい。①</p>
	3 外的要素	<p>○ 上下とも表紙のイラストがバラバラに配置されて、関連性がない。①</p>
	4 構成・配列	<p>○ 単元の終わりに振り返りや次につながるページが少ない。①②</p>
	5 資料・その他	<p>○ 下P.86～89のように、学習カードやノートや新聞など、児童の成果物として表現されたものの記載が大人の字と思われ、やや不自然である。②</p>

生活	教出（教育出版株式会社）
<p>総評</p>	<p>児童が安全（やくそく）を意識できるような工夫がされており、生活上必要な習慣や技能を身に付けることができる。</p> <p>単元ごとに考える場面を取り上げるページが設定され、特に、自分たち自身の成長について整理する様子をイラストと写真で大きく詳しく掲載される等、主体的、対話的で深い学びが実現できる。</p> <p>おもちゃを使って自ら生活に活かしていこうと考える活動がなく、活用するための気づきを工夫する必要がある。</p> <p>活動が限定される恐れのある箇所があるため工夫を要する。</p>
<p>特に優れている点</p>	<p>1 大阪市教育振興基本計画等との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下 P. 76～77 のように、単元ごとに考える場面を取り上げるページが設定され、児童が主体的、対話的で深い学びが実現できるように配慮されている。③</li> <li>○ 上 P. 17（他 4 か所）、巻末の P. 67～68、下 P. 28～29、同 P. 134～136 に児童が安全を意識できるような工夫がされている。（やくそく）①</li> </ul> <p>2 内容の取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上 P. 8～13 の下部分には、入学前に培ったことを具体的なイラストで表現していることにより、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図ることができる。⑦</li> <li>○ 下 P. 106～107 では、黒板に X チャートを使って自分たち自身の成長について整理する様子をイラストと写真で大きく詳しく掲載され、具体的に気づくことができるように工夫されている。②</li> <li>○ 学習の手順や資料・観察の視点（上 P. 36）がよく児童にとって分かりやすい。⑥</li> </ul> <p>3 外的要素</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上下表紙など、写真やイラストがカラフルで表情も豊かであり、児童が親しみを持ちやすい。③</li> <li>○ ページ数表記について、単元ごとに 4 色で分けられている。また、上 P. 30～31 のように、単元導入のページの下欄には、各学年での単元の位置づけが表記されていて分かりやすい。④</li> </ul> <p>4 構成・配列</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下 P. 24～44 では町探検の活動が効果的に進められるように構成配列されている。①</li> <li>○ 上 P. 127～136 P. 127～136 では、「学びのポケット」と題して各教科の技能や考え方につながる情報が掲載され、教科横断的な視点が盛り込まれている。①</li> <li>○ 上 P. 21（他 9 か所）、下 P. 19（他 9 か所）に「まんぞくハシゴ」が掲載され、単元ごとに児童が学びを振り返ることができる。②</li> </ul> <p>5 資料・その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上 P. 116～117 では、四季の自然の変化が写真を見て分かるように構成されていて、児童の学習意欲を引き出す工夫となっている。②</li> <li>○ QR コード（動画）があり、家庭でも意欲的に学べる。②</li> <li>○ 上 P. 6～7 の児童が 2 年間で成長し、下 P. 137 につながるストーリーとして表現されており、児童が自分の成長を重ねることができる。②</li> </ul>
<p>特に工夫・配慮を要する点</p>	<p>1 大阪市教育振興基本計画等との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話し合いの授業場面で、タブレットや ICT 活用が少ない③</li> <li>○ 児童の発達段階を考えると、上 P. 28～29 で、公園施設・遊びのルールにふれ、その後 P. 48～49 の学習につなげる方が安全である。④</li> </ul> <p>2 内容の取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下 P. 84～100 の「作ってためそう」では、おもちゃを使って自ら生活に生かしていこうと考える活動が見当たらない。⑤</li> </ul> <p>3 外的要素</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上 P. 73 のキャラクターのつぶやきの字が背景の中で小さくて分かりにくい。そして、P. 97 のうけねらいは不要である。②</li> <li>○ 上 P. 21 の見出しはゴシック体であり、「て」の濁音の点の位置が違っているため、ひらがな習得時の児童に混乱が生じる恐れがある。②</li> </ul> <p>4 構成・配列</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下 P. 60～81 など、活動が限定される恐れがある。②</li> </ul> <p>5 資料・その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下 P. 123 のタブレットに紐をつけるなど落とさない工夫が欲しい。①</li> <li>○ 下 P. 47 の写真は、監修者ではなく、身近な地域の方などが児童にとって実現可能性があり、ふさわしい。②</li> </ul>

生活		光村（光村図書出版株式会社）
総評		<p>各所に「どうすれば」よいかなど場面を取り上げるページが設定され、道徳教育に生かすことができる内容となっており他教科との関連を積極的に図っている。</p> <p>小学生になったら出会う新しい人・もの・ことを写真やイラストで表現していることにより、幼児期の終わりまでに育てほしい姿との関連を考慮し幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図ることができる。</p> <p>育てる植物の生長の様子が分かりにくい。</p> <p>本市の小学校の実態を考慮すると、多文化共生の観点から他国の人が登場しないのは不自然である。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 上P.20を始め、各所に「どうすれば」よいかを場面を取り上げるページが設定され、道徳教育に生かすことができる。⑤</p> <p>○ 上P.13、P.138～139、下P.22（他3か所）、巻末のP.98～99に児童が安全を意識できるような工夫がされている。①</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 上P.4～13には、小学生になったら出会う新しい人・もの・ことを写真やイラストで表現していることにより、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を図ることができる。⑦</p> <p>○ 上下ともに、各単元の振り返りの場面では、巻末のシールを用いて、整理できるようになっている。また、学年末には、そのシールを見開きページ（上P.136～137、下P.96～97）に貼りかえて自分自身の成長に気づくことができるように工夫されている。②</p>
	3 外的要素	<p>○ 裏表のイラスト表紙など、イラストが豊富でソフトな色づかいであるため、絵本のように児童が親しみを持ちやすい。③</p> <p>○ 表紙のコーティングが丈夫で、各ページの用紙の厚みや滑りにくい表面加工のため、児童がページをめくりやすい。①</p>
	4 構成・配列	<p>○ 下P.107～110では、「きせつのおくりもの」の写真が大きく掲載され、四季の自然の変化を効果的に振り返ることができる。①</p> <p>○ 上P.27（他7か所）、下P.17（他7か所）に「したことや、やってみたいこと」をシールに書いて貼るページが掲載され、單元ごとに児童が学びを振り返ることができる。②</p>
	5 資料・その他	<p>○ 上P.112～123では、四季の自然の変化がイラストや写真で構成されていて、児童の学習意欲を引き出す工夫となっている。②</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 上下巻ともに、タブレット活用の話し合いの場面がない。③</p> <p>○ 單元ごとに「ホップ、ステップ、ジャンプ」として、活動が決まっているため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を展開できない。③</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 巻末の「見つける、くふうする」「あらわす、つたえる」（上P.142～143、下P.102～103）については、上下巻ともに同じ内容のため、児童の発達に応じた活動の工夫が必要である。振り返りのシールの台紙となるページのイラスト（上P.136～137、下P.96～97）も同じである。⑤</p> <p>○ 本市の小学校の実態を考慮すると、他国の人が登場しないのは、不自然である。①②④</p>
	3 外的要素	<p>○ 上の全148ページの場合、イラストと言葉のみは、65ページで、下108ページの場合、68ページであり、写真の活用が少ない。上巻が下巻より40ページ多く、上巻が重い。③</p> <p>○ 上下巻ともに巻末シールの色分けは、ページごとに同じである。学習指導要領の内容に合わせて、單元ごとに配色すると分かりやすい。④</p>
	4 構成・配列	<p>○ 下P.74～75など、言語活動が多く活動が限定される。②</p> <p>○ 育てる植物の生長の様子が分かりにくい。上.28～43①</p>
	5 資料・その他	<p>○ 上下巻ともに、巻頭・巻末の工藤直子氏の詩に合わせた構成となっており、児童の視点からはやや離れている。②</p>

生活		啓林館（株式会社新興出版社啓林館）
総評		<p>スタートカリキュラムに通学の約束や災害時の避難の約束が示され、子どもたちが安全についての生活上必要な習慣や技能を身に付けることができる。</p> <p>問いかけている吹き出しや、話し合っている挿絵に思考ツールが使われている板書例が掲載されていることで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善ができる。</p> <p>「生きもの大すき」の単元では、多くの大阪市の学校では触れ合うことができない生き物が掲載されているので、具体的な活動や体験についての学習をするには配慮を要する。</p> <p>目次を見たときに季節を表現する絵やことばの表現が少ないため、目次を見て指導をする際に工夫が必要である。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上のすたあとぶっくのP. 16, 17や下P. 128に通学の約束や災害時の避難の約束が示され、子どもたちの安全について示されている。①</li> <li>○ 上P. 45や下P. 27には、問いかけている吹き出しや下P. 30に話し合っている挿絵、上P. 92やP. 99、下P. 94に思考ツールが使われている板書例が掲載されていることで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善ができる。③④</li> <li>○ 上P. 68～69には「大せつないのち」や下P. 84～85の「わたしの町」では道徳教育を通して、豊かな心や創造性の涵養をめざした教育の充実に役に立つ。②</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ QRコードを使って、ホームページや動画を見ることができ、活動の見通しや例を示すことができる。①</li> <li>○ 下P. 86～95「町たんけん」では、写真や学習の流れが詳しく表現され、児童が身近な人々や社会を自分との関りで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるように工夫されている④</li> <li>○ 上P. 8～11「きになるばしょにいてみよう」では、学習する観点として、もの・ばしょ・ひとや、下P. 64～65「あそび方やルールをくふうしよう」では、くらべる・ためす・くふうするのように考える視点が明示されている。⑥</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 下P. 31など児童が実際に活動をしているような写真や、ワークシートが掲載されており、活動の様子がわかりやすくなっている。③</li> <li>○ タイトルなど見やすいユニバーサルデザインフォントや内容が伝わりやすい配色・デザインを用いている。②</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上P. 17やP. 33、下P. 67やP. 83など、「できるかな できたかな？」で学習の振り返りを行えるように配慮され、活動が連続発展するよう工夫されている。②</li> <li>○ 上P. 64, 65やP. 68に国語科や図画工作科、体育科、道徳科など教科等横断的な視点があり、効果的な指導が行われるように工夫されている。①</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上下巻とも「がくしゅうずかん」が巻末にあり、活動のルールや方法や話し合いのヒントなどが詳しく掲載されている。①</li> <li>○ 上P. 74～75やP. 81の写真が本当の大きさと掲載されているので、児童がイメージしやすく興味関心を高める工夫となっている。②</li> </ul>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報機器の活用について、発表などで使用している写真は掲載されているが、使い方や活用の仕方の情報量を工夫すると活動に広がりがある。④</li> </ul>
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上の「生きもの大すき」の単元では、多くの大阪市の学校では触れ合うことができない生き物が掲載されているので、具体的な活動や体験についての学習がしづらい。①</li> </ul>
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上の「すたあとぶっく」のページが他のページより小さく、最初のほうのページがめくりにくくなっている。①</li> </ul>
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次を見たときに季節を表現する絵やことばの表現が少ないため、目次を見て指導をする際に工夫が必要である。①</li> </ul>
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ワークシートが掲載されているが、児童の実態よりも文の量が多いことやその例文に児童の思考が流されてしまう。</li> </ul>

生活		日文（日本文教出版株式会社）
総評		<p>「町のすてき」というタイトルで地域に住む様々な人が紹介されている。その中で安全な地域について気づきが深まるように工夫されており自分と身近な人々の関わりに気づくことができる。</p> <p>各活動や小单元ごとに設けられている「ふりかえり・つなげる」のコーナーでは、活動の振り返りが新たな活動の意欲につながるような表現になっていることから、主体的な活動が連続発展し、深まっていくよう構成されている。</p> <p>考える技法が紹介され、児童の発達段階に応じて、自ら問題を発見し、考えたり、ふり返ったり、見直したりしながら、新しいことを発見したり気づいたりできる力を育成する工夫がされている。</p> <p>学校探検や町探検の活動の中では、生活上必要な習慣や技能を身につけづらい。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 下P.78～79では、「町のすてき」というタイトルで地域に住む様々な人が紹介されている。その中で安全な地域について気づきが深まるように工夫されている。①③</p> <p>○ 各活動や小单元ごとに設けられている「ふりかえり・つなげる」のコーナーでは、活動の振り返りが新たな活動の意欲につながるような表現になっていることから、主体的な活動が連続発展し、深まっていくために有効である。③④</p> <p>○ 上P.130、下P.114～115では考える技法が紹介され、児童の発達段階に応じた論理的思考力判断力の育成に効果的である。④</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 上P.36～46などで、ページ上部に「てをあらおう」など、生活上必要な技能に着目させる工夫がある。③</p> <p>○ 上P.4～17スタートカリキュラムのページであると明確に位置づけられ、写真やコメントを通して、幼児教育との円滑な接続ができるように工夫されている。⑦</p> <p>○ 下P.100～111では自分の成長について振り返る中で、今まで関わってくれた人に対して意識が向くように工夫されている。また、単元の終わりには発表会に招待することで自分自身の成長について考え、表現することができる。④</p>
	3 外的要素	<p>○ 表紙は上下とも子どもの姿が写真で表現され、「わたしとせいかつ」という文字も大きく見やすい。子どもが自分自身のこととして親しみやすい。③</p> <p>○ 上P.59など生物の写真が、鮮明で水のしずくと生物の興味深い場面を切り取っている。③</p>
	4 構成・配列	<p>○ 下P.98～99のようにふりかえりの活動を意識したページが配列され、学んだことを生活に生かしたり、人とのつながりに生かしたりすることができる。②</p>
	5 資料・その他	<p>○ 上P.124～143、下P.112～135にわたって「ちえとわざのたからばこ」というタイトルで観察や電話のかけ方、インタビューの仕方など学習に役立つ技能が詳しく記載されている。写真や図、コメントが適切かつ丁寧でわかりやすい。②</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ タブレットパソコンの活用場面などが無い。②</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 学校探検や町探検の活動の中で、生活上必要な習慣や技能を身につけづらい。②</p>
	3 外的要素	<p>○ 低学年の児童が扱うにあたって、紙質が使用しづらい。①</p> <p>○ 低学年にしては文字が小さい②</p>
	4 構成・配列	<p>○ 他教科との関連を意識したページが見つけにくい。①</p>
	5 資料・その他	<p>○ 上P.55 注意する生物の写真はあるが、どのようにすればいいのか説明がない。②</p>